聖陵 Sei-Ryou

2015.3 Vol.18
盛岡大学聖陵同窓会報

発行者／盛岡大学聖陵同窓会
事務局／〒020-0694
岩手県滝沢市砂込 808 盛岡大学内
電話 .019-688-5555
ホームページアドレス
http://www.morioka-u.ac.jp/seiryou/index.html

東日本大震災により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

CONTENTS

■ 同窓会長あいさつ …… 1
■ 新校舎に同窓会室設置！ …… 2
■ 保育・幼児教育コース、栄養科学部 … 2
■ 同窓会活動報告 …… 3
■ 卒業生は今 …… 3
■ 部活動報告 …… 3
■ インフォメーション …… 4
■ 事務局便り …… 4
■ 編集後記 …… 4

同窓会長あいさつ

盛岡大学聖陵同窓会
会長
菅原　元

盛大生5人に1人が教員に

タイトルの「盛大生5人に1人が教員に」は、昨年秋のホームカミングデーにおいて、高橋俊和文学部長の御挨拶の中のワンフレーズです。現在盛岡大学の卒業生（聖陵同窓会会員）が1万人を超えておりますが、盛岡大学案内に掲載してあるように昨年までの教員採用試験合格者が2，228名にも及んでいるのが現状です。当日のシンポジウムで、有馬賢さん（北厨小教員・1989卒）が、盛大の学生を教育実習での受入光景や、中堅教員としての教育の現状を話されました。時に「子供たちの笑顔に出会うために」と笑顔一杯で話されたのが印象的でした。私自身は民間サラリーマンで、仕事の関係で小学校へ訪問の際、盛大卒の教職員が活躍している光景を目の当たりにしたり、校長先生から多大なお褒めを頂いたりしております。全国に教職員としての活躍の場を求め、日夜努力されている教職員の皆様に敬意を表すと同時に、今後も益々よき先輩に続いて多くの教員を輩出頂きたいと思います。その為に今後とも大学とコラボ連携して、「夢あかり」など特徴ある取り組みを支援して参ります。

次に、聖陵同窓会としての城を構築する事に一歩近づきました。これは、盛岡大学の校舎増築の一環にて、現在の食堂から連結の2階建て建物の1室を、同窓会室として、開設する予定です。現在の予定では、27年度着工、28年度中供用開始になります。オープンな環境で、皆様をお迎え出来る環境に整えて参ります。

また、同窓会事業の一つとして、同窓会名簿作成に着手致します。よって皆様には連絡先等の確認作業の御協力をお願い致します。

終わりに今後とも、盛岡大学聖陵同窓会に対して、御指導、ご声援をお願い致します。

新校舎に同窓会室設置！

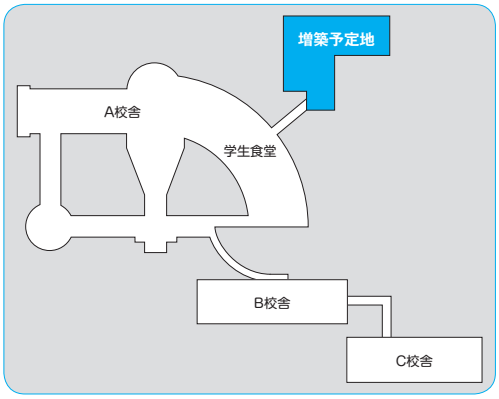
学校法人盛岡大学では、新校舎の増築を平成28年度の完成を目指して進めています。平成27年度より約一年計画の建設、平成28年度内の利用開始を予定しています。建設予定地は既存A校舎の北側の現在草地となっている場所で、建物は鉄筋コンクリート造二階建て延床面積約2、000㎡を予定しています。

一階には学生ラウンジ、多目的演習室、大教室、保健室、相談室、事務室、女性用パウダールーム等が、二階にはプレイルーム兼教室（約420㎡）、普通教室等が設置される予定です。

そして、かねてから希望していた同窓会専用の部屋：同窓会室を、学校法人のお取り計らいにより、建物の二階に設置することとなりました。

本同窓会は、同窓会室の設置をステップにして、今後の会の運営及び活動を活発かつ綿密に行っていきたいと思っています。多くの会員の皆様のご理解とご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

次号の会報では新校舎の詳細についてお知らせいたします。



校舎平面図

保育・幼児教育コースが新設されました

平成27年度より子ども・子育て支援新制度が本格的にスタートすることになっており、保育・幼児教育のみならず、より広い意味での子育て支援における量的・質的な拡充及び向上が求められてきております。そのような背景を踏まえ、新たに平成26年度よりスタートした文学部児童教育学科『保育・幼児教育コース』は、保育士資格・幼稚園教諭一種免許状の取得を基本とし、更に希望する者は小学校教諭一種免許状も取得することができ、幅広く乳児期・幼児期・児童期の子どもたちに対する専門的知識を身に付け、附属幼稚園や協力園での実習やボランティアを通してより高い保育・幼児教育の実践力を習得することを目的としています。

さらに、幼児教育講座という講義の中で1年～4年の縦割りグループでの模擬保育や附属幼稚園の園児に対する保育活動を計画・実践することで、1年次から多くの保育実践を体験することが出来ます。このように、理論的にはもちろん実践的な力も身に付けて、より高い専門性をもつ人材を育成することを目指しています。

栄養科学部が初めての卒業生を輩出しました

平成26年3月に初めての卒業生を送り出した栄養科学部は、一期生の軌跡を基に、地域で真に活躍できる知識と技能、心をもった管理栄養士の養成に日々取り組んでいます。

教養教育科目に加え、社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康、基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論に関連する様々な専門科目を学んでいます。座学だけでなく幅広い実験・実習を通じ、食の専門家としての学びを深めています。

本学部では栄養士資格、管理栄養士国家試験受験資格のほか、栄養教諭一種免許状、食品衛生管理者任用資格、食品衛生監視員任用資格の5つの資格取得を目指すことができるため、活躍の場は多岐に渡ります。主な就職先は、病院、老人福祉施設、児童福祉施設、公務員、コントラクトフードサービス、ドラッグストア、食品製造等が挙げられます。また、大学院へ進学し、研究を深めるという選択もできます。自らの理想に向かい、本学での学びを糧に、多方面での活躍を広げていってくれることを期待しています。

同窓会活動報告

SOWASOWAする会

文学部児童教育学科　平成6年度卒業　石戸　満

「そこいらのわらしども」を略して「そわ」というのがサークル名の由来だったと思います。（ちなみに幼教の岩崎先生が初代SOWA）そして、学生時代、地域の子ども達と沢山遊び、学んだSOWA出身の卒業生で集合をかけたのが、「SOWASOWAする会」です。

元々私達11代目は、ちょこちょこと集まっていたのですが、「せっかくだから、先輩や後輩に声を掛けよう!」ということで「第1回SOWASOWAする会」を開催することになりました。それが、昨年度の10月です。聖陵祭「ホームカミングデー」に何人かで出席、久しぶりの大学を楽しんだあと、花巻温泉郷「愛隣館」に集まりました。6代目～13代目の仲間と子ども達約20名の参加でした。皆が学生に戻り、思い出に浸りながらの楽しいひとときを過ごしました。（幹事11代目千葉さんお疲れ様でした。）

「毎年集まろう!集まらなきゃダメだ!」という某先輩の一言で次年度の開催決定。幹事も決まりました。

今年度は、8代目三浦先輩が中心となり、またしても聖陵祭の日、宮城県仙台市のホテル白萩に集まりました。10名程の参加でした。一晩中語り合ったのはもちろんですが、「歴代の部員を書き出してみよう!」ということで模造紙に。（さすが三浦先生。授業か!?）初代～17代目位まで、何と総勢140名。その後も続いていますから、とんでもない同窓生の人数になります。歴史を感じた瞬間でした。

次年度は、八戸で開催予定です。毎年、続けていくことでつながりを深めていきたいと思います。現役の学生さんや大学の為に何かをできる「SOWASOWAする会」を目指していますので、皆様よろしくお願いします。

卒業生は今

文学部児童教育学科
平成20年度卒業
藤田　清澄

私は平成26年度より、盛岡大学文学部児童教育学科の教員として勤務させていただいております。専門は保育・幼児教育ということで今年度から新たにスタートした保育・幼児教育コースに所属しております。

私が研究者としてスタートすることが出来たのは、春日菜穂美先生のゼミ生として卒業論文を作成したことが基になっています。多くの方は卒業論文というと「とても大変で、大学を卒業するために仕方なく書かなければいけないもの」のようにマイナスなイメージをもっているのではないでしょうか。私も当時は本当に一生懸命、それこそ卒業をするために書いていました。しかしその中で、子どもを見つめていくことの楽しさ、そしてそこから子どものイキイキとした姿を見出すことの充実感を味わうことが出来ました。

私自身も今後そのような『子どもと関わることの楽しさ』を多くの学生と語り合っていきたいと考えています。

栄養科学部栄養科学科
平成25年度卒業
由利　綾香

現在、私は西和賀町立湯田小学校に勤務しています。本校は自校式給食であり、献立作成・発注などの栄養士業務である給食運営をはじめ、各種学校行事の運営にも携わりながら食に関する指導を行っています。

給食運営では、「安心で安全な給食を提供する」という基本的な業務を遂行することを第一目標とし、衛生管理の向上に努めながらおいしい給食作りに励んでいます。

食に関する指導では、食育の視点と授業を行う教科のねらいを理解し、子ども達の実践力につながる効果的な指導に向けて、日々教材研究に力を入れています。

ときには、自分の対応や判断が適切であったのかと戸惑い、悩むことがあります。しかし、子ども達の「給食おいしいかったよ」という声が大きな支えとなり、子ども達の健康を支えることができる仕事にやりがいを感じています。

今後も、子ども達の健やかな成長をサポートし、自ら積極的に食育を推進していけるよう努めていきたいと思います。

部活動報告

軟式野球部

全国大会初勝利を目指して

日本文学科　2年　森　拓真

私たち軟式野球部は、全国大会での初勝利を目標に日々励んでおります。現在の部員数は選手、マネージャー合わせて20人程度と決して多い人数ではありませんが、経験者、初心者、学年関係なく仲の良い明るいチームです。また、選手が監督もするチームなので、選手同士で練習メニューを考え取り組んでいます。

昨秋には全国の舞台、東日本大学軟式野球選手権大会へ2年連続の出場を決めました。今年は千葉県で開催されて、1回戦・國學院大学二部戦。延長戦突入となる接戦の末、惜しくも6対7と敗れましたが、全国への手応えを実感しました。

聖陵同窓会からの助成により、無事に大会へ出場し、力を大いに発揮することが出来ました。春、秋に行われる地区リーグを再び勝ち抜き、全国大会での初勝利を目指し今後も頑張ります。応援よろしくお願いします。

女子バレーボール部

バレーボールを通して

児童教育学科　2年　三浦あずさ

女子バレーボール部は、東北1部リーグ入りを目指し練習に励んでいます。部員の多くは、中学・高校時にバレーボール部に所属していた者がほとんどですが、未経験の者も選手として頑張っています。

最近は、東北北リーグ2部として春・秋のリーグ戦の他、十数年ぶりに全日本インカレに出場することができました。岩手県内では、天皇杯予選会や岩手県選手権大会に出場し、東北や岩手県下のチームと対戦しています。

各種大会等では、試合会場で卒業生の皆様から励ましの言葉をかけていただくことも増え、次の試合に向け、練習に一層励みが増してきています。

卒業生の皆様が築き上げた歴史に新たな好結果を残せるようこれからも努力していきます。今後ともご支援ご声援をお願いします。

information

堂々7連覇!!

8月1日、盛岡さんさ踊り初日。盛岡大学・盛岡大学短期大学部さんさ踊り実行委員会総勢258名（交換留学生3名を含む）が、見事最優秀賞を受賞し、連覇の襷をつなぎました。跳び抜けた躍動感と地響きさながらの太鼓の轟きはまさに圧巻で、観る人の心を惹き込み魅了しました。全国各地から多くのOG・OBも応援に駆けつけ、感動を分かち合いました。

白樺の苗木を1,500本植樹!

解体撤去工事を終えた八幡平校舎跡地を国に返還するため、白樺の苗木1,500本を植樹しました。作業は昨年6月14日から21日まで行われました。最終日には菅原同窓会長をはじめとする有志が集い、八幡平校舎への惜別の思いと感謝の気持ちを込めて苗を植えました。

今後の盛岡大学の発展と、白樺の成長を末永く見守っていただければと思います。

毎年恒例 夢あかり

今年度の開催で6回目を迎えた当イベントは「もりの雪まつり」と題し、「夢あかり」と「Wish Land」という2大イベントで開催いたしました。本学を学び舎として子どもたちに楽しんでもらいたいという思いから、滝沢市の小学生と附属幼稚園の園児をお招きしました。

夢あかりでは、雪像を作ったり、竹灯ろうやLEDライトを灯したりして、子ども達をはじめ、入学試験の受験生をお出迎えしました。さらに、小学生と牛乳パックで灯ろうづくりをし、オリジナルの灯ろうがキャンパスを色とりどりに飾ってくれました。

35名の小学生と32名の幼稚園児をご招待したWish Landでは、そり山や雪上かるた、創作遊び、宝探しなど、様々なアトラクションで楽しむことができました。遊びを通して、初めて会うお友だちや学生と仲良くなり、元気に遊ぶ子ども達の姿が印象に残っています。

閉会式では、子ども達から「楽しかったので、来年も来たい。」という声を多くいただき、学生も楽しく嬉しい一日となりました。

貴同窓会のご理解とご支援のもと、今年度もこのようなイベントを開催できましたこと、深く御礼申し上げます。

平成25年度 聖陵同窓会決算報告

（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

収入の部　（単位：円）

項　目	予算額	決算額
入会金	1,500,000	1,430,000
終身会費	3,000,000	2,860,000
雑収入	20,000	10,859
特定預金取崩収入	0	0
計	4,520,000	4,300,859
繰越金	944,317	944,317
合計	5,464,317	5,245,176

支出の部　（単位：円）

項　目	予算額	決算額
事業費	2,050,000	2,232,508
事務費	10,000	4,000
通信費	10,000	5,850
会議費	100,000	60,410
慶弔費	100,000	59,586
旅費交通費	100,000	37,000
財政基金繰入支出	2,000,000	2,000,000
計	4,370,000	4,399,354
繰越金	1,094,317	845,822
合計	5,464,317	5,245,176

事務局だより

酷暑の夏を越え、例年よりは過ごし易い冬を越え、砂込キャンパスは卒業生を送り出す季節となりました。同窓会にとっては新しい仲間を迎える季節でもあります。

新しい仲間と言えば、記事中にもありますが本年度のホームカミングデーには昨年卒業した栄養科学部の1期生が多く来てくれました。ホームカミングデーは来年度も引き続き行う予定でおります。時期になりましたらご案内を出しますので、お誘いあわせの上、是非お出かけください。

また、ホームカミングデーの案内に併せて、同窓会名簿作成の住所確認を行いたいと考えております。同窓生同士のネットワーク作りの一助になろうかと思います。ご協力いただければ幸いです。

学内では「地域連携センター」が発足。地域貢献に取り組むための窓口となる部署です。地域に暮らす同窓生の生活や仕事にも関わる部署になります。盛岡大学・盛岡大学短期大学部の力を活用したい。連携して活動したい。との要望がありましたら、地域連携センター（019－688－5555（盛岡大学代表））に連絡してみてください。

同窓会も事務局長以下、会計、会報の編集長など、若い体制となりました。これまで以上に皆様方のご助力を必要とする体制でもありますが、同窓会の発展のため尽くしていく所存であります。ご指導賜りましたら幸いです。

編集後記

■ 編集委員

佐藤大裕（平成12年度卒）／吉田典子（昭和60年度卒）／畑村とも子（昭和60年度卒）／上條尚樹（平成15年度卒）／吉田智子（平成15年度卒）／川田彩乃（平成20年度卒）／佐々木啓（平成23年度卒）／佐藤克俊（平成24年度卒）／戸羽智美（平成24年度卒）／松田祥絵（平成25年度卒）

今号では概要での紹介となりましたが、ついに母校に新校舎が増築されることとなりました。次号ではより詳しい情報を掲載できることと思います。また文学部児童教育学科に保育・幼児教育コースが新設されたことや、栄養科学部が初の卒業生を輩出したことなど大学の新しい動きを紹介することができました。これからも大学の「今」や会員みなさまの活動を紹介していきたいと考えております。「同窓会活動報告」への寄稿もお待ちしてます。